

抄録：

手術用手袋のピンホールを通過する細菌濃度

著者：Julien-Camill Harnoß; Lars-Ivo Partecke (MD); Claus-Dieter Heidecke (MD, PhD); Nils-Olaf Hübner(MD); Axel Kramer (MD, PhD); Ojan Assadian (MD, GTMH)*

背景

手袋の穿孔および外科医の手の細菌数の両方が手術時間と共に増加することが示されている。この研究の目的は、実際の手術条件下において手袋の穴を通過して、患者から手術スタッフに移動する可能性のある細菌の量を確認することである。

概要

アウター手袋が穿孔したことでインナー手袋の表面に付着した、患者から移動して来たと考えられる細菌を調査した。4ヶ月間にわたって20件の手術を観察し、手袋の穿孔の有無を調べ、細菌の有無を試験した。手術部位も調査した。

結果

調査したアウター手袋の4.7%で手袋の穴を通過して移動した細菌が発生していた。評価した250枚の手袋のうち、穿孔が見つかったのはアウター手袋の21.1%およびインナー手袋の14.8%であり、82.2%の穿孔は手術スタッフが気づかぬうちに発生していた。

結論

細菌は手袋の穴を通過し、患者から手術スタッフへ直接移動する。手袋の穴を通過した細菌にはブドウ球菌、マイクロコッカス、腸球菌などがある。

参考文献 1. Harnoß et al., Concentration of bacteria passing through puncture holes in surgical gloves *Am J Infect Control* 2010;38:154-8

この抄録は Ansell Healthcare Products LLC によって執筆され、提供されています。Ansell Healthcare は、発表された研究をできる限り正確に要約する努力を払っていますが、要約の正確さについての表明は行いません。追加情報については、実際の調査結果を参照してください。

*Assadian博士は、アンセルおよび/またはその関連会社の有料サービスプロバイダである Quantum Management & Service のコンサルティング業務を行っています。